

事業番号	09 03 09	事業改善シート(28年度実施事業分)		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	環境保全型農業直接支払事業			担当課	部局	農政部	
				課・室	農業技術課		
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	<a href="mailto:nogi@pref.nagano.lg.jp">nogi@pref.nagano.lg.jp</a>		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 ◆自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		実施期間	H19 ~		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1)経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	食と農業農村振興計画に掲げた自然の力を活かした環境農業の推進に向け、化学肥料、化学合成農薬の使用を地域の一般的な栽培と比べて50%以上削減したうえで、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動を目指す。													
現状(予算編成時)	○環境問題の関心が高まる中で、農業生産活動においても省エネルギーの取組は行われているものの、消費エネルギーの削減のみならず営農活動として地球温暖化防止に貢献する取組の推進が必要である。													
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 実施要領により、農家への交付金は国50%、県25%、市町村25%にて支援することとなっている。 環境保全型農業直接支払交付金実施要綱 長野県食と農業農村振興計画												
	県民との協働による実施: 検討中													
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28) 取組面積:745ha:環境保全型農業直接支払の取組の推進により増加													
	② 事業内容 (単位:千円)													
		項目	実施方法	H28実施内容	H27(当初)	H28(要求) (予算案)								
		環境保全型農業直接支払交付金	交付金	化学肥料、化学合成農薬の使用を50%以上削減したうえで地球温暖化防止、生物多様性保全の取組への交付金(水稲など主作物の栽培期間の前後にカバークロップ(緑肥作物)などを作付する取組等) 実施見込面積:745ha	42,000	42,000								
		環境保全型農業直接支払推進交付金	交付金	推進活動など事務経費への交付金 取組市町村数40市町村	1,500	1,200								
		環境保全型農業直接支払推進交付金	交付金	推進活動など事務経費への交付金 農業技術課、地方事務所 10ヶ所	300	600								
	合計			43,800	43,800	0								
事業コスト	区分(単位:千円)		26年度	27年度	28要求	28予算案	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越						項目	H26末	H27末(見込)	H28			H29目標
		当初予算	15,800	43,800	43,800	目標	成果				達成状況			
		補正予算	-7,984											
		合計(A)	7,816	43,800	43,800									
	Aの財源	一般財源	6,659	14,000	14,000									
		県債												
		国庫支出金	635	29,800	29,800									
		その他	0	0	0									
	ト	決算額(B)	7,267											
概算人件費	職員数(人)	1.50	1.50	1.50										
	概算人件費(C)	12,387	12,387	12,387										
	概算事業費(B(A)+C)	19,654	56,187	56,187										
指摘事項等への対応		(指摘事項等)			(対応)									
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善														
要求からの主な変更点														